

## 認定 HLA 検査技術者認定制度 平成 18 年度・認定 HLA 検査技術者講習会の御案内

組織適合性検査技術者認定制度委員会  
委員長 佐田 正晴  
組織適合性検査技術者認定制度委員会教育部会  
部会長 西村 泰治

日 時：平成 18 年 9 月 24 日(日曜日) 16:30～18:30

場 所：シェーンバツハ・サポー(東京都千代田区平河町 2 丁目 7-5)

参加費：2,000 円(テキスト代を含む) 事前に参加費を振り込んでおられる方には、受付にて出席確認を済ませてから御入場ください。当日参加も可能ですが、講習会資料の数に限りがありますので御了承ください。

内 容：各講習とも質疑応答を含めて 25 分を予定しています。なお講習タイトルは変更される可能性があります。

- (1) HLA クラス I 抗体の方法別検出感度と血小板輸血効果  
齊藤 敏 (長野県赤十字血液センター検査課)
- (2) HLA の遺伝学; 疾患感受性解析  
太田 正穂 (信州大学医学部法医学)
- (3) HLA の免疫学; HLA とウイルスとの戦い  
千住 覚 (熊本大学大学院・医学薬学研究部・免疫識別学)
- (4) 腎移植, 膵移植をめぐる HLA タイピング, クロスマッチの意義  
杉谷 篤 (九州大学病院・腎疾患治療部・臨床腫瘍外科)

この講習会は、今後 HLA 検査技術者認定を取得あるいは更新しようとする方を対象に実施されますが、それ以外の方であっても自由に参加することができます。来年度から認定 HLA 検査技術者の更新時期を迎えられる方がおられます。「認定 HLA 検査技術者及び認定組織適合性指導者認定制度規則」では、「認定証の有効期間満了前の 2 年間に、技術者履修課程に定められた講習を 1 回以上受講していること」が更新の条件となっております。来年度に更新を迎えられる方で昨年度の講習を受講されていない場合は、必ず今年度の講習を受講してください。また、平成 20 年度に更新を迎えられる方は、今年度あるいは来年度の講習を受講してください。なお、すでにメキりを過ぎておりますが、受講希望者は以下の申込書に必要事項を記入し、熊本大学大学院医学薬学研究部・免疫識別学分野宛に FAX (096-373-5314) で送付してください。あるいは、E メールで件名を「HLA 講習会」とし、申込書の必要事項を書き込んで「midorifu@kaiju.medic.kumamoto-u.ac.jp」宛に送信してください。なお参加費は平成 18 年 8 月 31 日(木)までに、指定の郵便振替口座(口座番号: 00160-7-482142, 口座名称: 組織適合性技術者認定制度委員会)に振り込んでください。振替用紙の通信欄に、受講(予定)者の所属、氏名とともに、「平成 18 年度認定 HLA 検査技術者講習会受講料」と記載してください。8 月 31 日(木)までに参加費を振り込まれた方には、事前に講習会資料を送付させていただきます。なお、受講申し込みをされ参加費を振り込まれた方で、当日欠席された方には返金できませんことを御了承ください。また、テキストの印刷部数は事前申込者数に応じて決定され、事前申込者に優先してテキストを配布します。このため当日参加者にはテキストを配布できない場合がありますことを、あらかじめご了承ください。なお、講習会資料は、講習会の 1~2 ヶ月後に学会ホームページに掲載される予定です。

### 平成 18 年度認定 HLA 検査技術者講習会 受講申込書

(申込書は学会ホームページからダウンロードできます)

FAX 送信先: 096-373-5314, E メール送信先: midorifu@kaiju.medic.kumamoto-u.ac.jp

氏 名:

所 属:

住 所: 〒

電 話 番 号:

FAX 番 号:

E メールアドレス:

HLA 検査技術者認定取得予定 なし あり → 平成 年度を予定

## 認定組織適合性指導者認定制度 平成 18 年度・認定組織適合性指導者講習会の御案内

組織適合性技術者認定制度委員会  
委員長 佐田 正晴  
組織適合性技術者認定制度委員会教育部会  
部会長 西村 泰治

第 15 回日本組織適合性学会大会中の下記の特講演 1 題、招待講演 1 題、シンポジウム 1 題およびワークショップ 1 題の合計 4 題のうちから、B. D. Tait 博士の招待講演を含む 3 題以上の聴講をもって、指導者認定あるいは認定更新に必要な講習を受講したものと認めます。なお、会場の入り口付近に受講者記帳名簿を準備しますが、受講者記帳名簿へのサインをもって受講証明といたしますので、受講されましたらお忘れなく御記帳ください。来年度から認定組織適合性指導者の更新時期を迎えられる方がおられます。「認定 HLA 検査技術者及び認定組織適合性指導者認定制度規則」では、「認定証の有効期間満了前の 2 年間に、指導者履修課程に定められた講習会を 1 回以上受講していること」が更新の条件となっております。つきましては、来年度に更新を迎えられる方で、昨年度に受講をされていない方には、必ず上記の今年度の指導者講習を受講してください。また、平成 20 年度に更新を迎えられる方は、今年度あるいは来年度の指導者講習を受講してください。

### 9 月 25 日(月)

- 10 時 30 分～ ○ シンポジウム「組織適合性：臨床から望むもの」  
12 時
- 1) Overview 佐田 正晴(国立循環器病センター研究所)
  - 2) 臓器移植(特に腎臓移植)におけるクロスマッチ検査と新しい診断・治療法の普及について 杉谷 篤(九州大学大学院医学研究院)
  - 3) 日本移植学会・日本組織適合性学会 共同ワーキング  
江川 裕人(京都大学大学院医学研究科)
  - 4) 臍帯血移植に関連して 高橋 聡(東京大学医科学研究所附属病院)
  - 5) 公的バンクに望むこと；移植医へのアンケート結果から  
松崎 道男(虎ノ門病院 輸血部)
  - 6) 追加発言：より詳細な HLA 適合検索の必要性；ある臨床の現場から  
富澤 大輔(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)
- 13 時 30 分～ ○ ワークショップ「組織適合性と生命倫理」  
15 時
- 1) 検査センター(登録衛生検査所)の立場から 小川 公明(白血病基金を育てる会)
  - 2) ドナー登録の立場から 三田村 真(NPO 法人全国骨髄バンク推進連絡協議会)
  - 3) 移植コーディネーターの立場から 菊地 耕三(日本臓器移植ネットワーク)
  - 4) 医師の立場から 森島 泰雄(愛知県がんセンター中央病院)
  - 5) 研究者の立場から 徳永 勝士(東京大学大学院医学研究科)
- 17 時～18 時 ○ 特別講演  
帯木 蓬生(森山 成林・通谷メンタルクリニック)  
医学における ELSI (ethical-legal-social issues) —私の小説から—

### 9 月 26 日(火)

- 11 時～12 時 ○ 招待講演  
Brian D. Tait (Victorian Transplantation and Immunogenetic Service,  
Australian Red Cross Blood Service)  
HLA, Immunogenetics and Transplantation -looking back and the road ahead-

## 認定組織適合性指導者および認定 HLA 検査技術者認定証の更新について(お知らせ)

組織適合性技術者認定制度委員会

委員長 佐田 正晴

平成 14 年度(2002 年度)に認定を受けられた方は、来年度(平成 19 年度)に更新を迎えられます。下記の更新基準を満たしているかをご確認ください。

認定 HLA 検査技術者の更新資格は、

- (1) 認定証の登録年度から 5 年間に資格審査基準が 30 単位以上あること。但し、当学会の大会への参加が 5 単位以上含まれていなければならない。
- (2) 認定証の有効期間満了前の 2 年間に技術者履修課程に定められた講習を 1 回以上受講していること。
- (3) 認定証の登録年度から 5 年間に学会が主催する QC ワークショップ集会への参加があること。

となっています。

また、認定組織適合性指導者の更新資格は、

- (1) 認定証の登録年度から 5 年間に別表により更新資格審査基準が 70 単位以上あること。但し、日本組織適合性学会誌における原著論文、総説、または学会の大会における発表が 15 単位以上含まれていなければならない。また、原則として当学会の大会への参加が 15 単位以上含まれていなければならない。
- (2) 認定証の有効期間満了前の 2 年間に指導者履修課程に定められた講習会を 1 回以上受講していること。
- (3) 認定証の登録年度から 5 年間に学会が主催する QC ワークショップ集会への参加歴があること。

となっています。

来年度に更新を迎えられる方で、昨年度の講習を受講されていない方は必ず今年度の講習を受講してください。また、認定証交付から昨年度までに QC ワークショップ集会に参加されていない方も今年度の QC ワークショップ集会に必ず参加してください。なお、講習会と QC ワークショップ集会の詳細については本誌の大会案内をご参照ください。

また、平成 20 年度に更新を迎えられる方は、今年度または来年度の講習を必ず受講しておいてください。QC ワークショップ集会についても上記と同様に参加されていない場合は、今年度または来年度に参加しておいてください。

上記の講習の受講歴および QC ワークショップ集会の参加歴がない場合には、認定証の更新ができませんので、呉々もご注意ください。